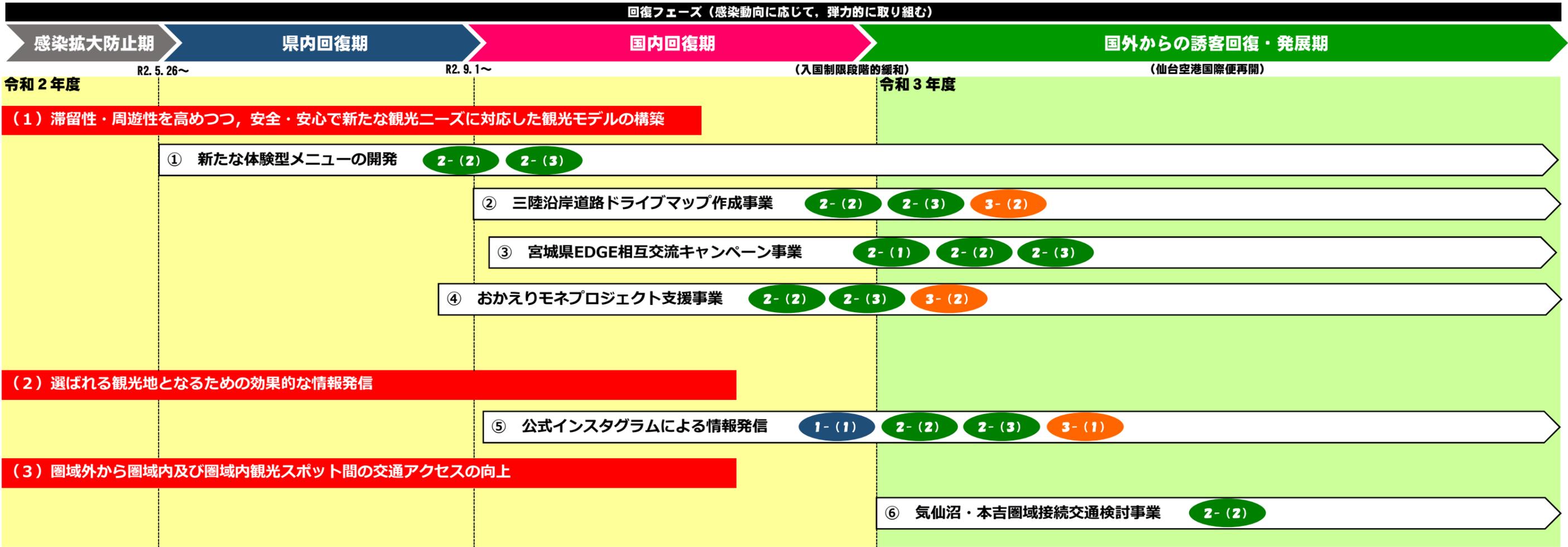


# みやぎ観光回復戦略に位置付ける取組の進捗状況について（気仙沼・本吉圏域）

参考資料 4

<b>みやぎ観光回復戦略</b> <b>計画の基本理念</b> 安全安心の確保とともに、デジタル変革を進め、新たなビジネスモデルの創出を図り、持続可能で選ばれる観光地をつくる	<b>視点1 安全・安心の機運の醸成と可視化により、選ばれる観光地をつくる</b>		
	(1) 観光地として選ばれるための安全安心の対策とその見える化	(2) 入国制限緩和や地域の観光関連を見据えたインバウンドへの取組	
	<b>視点2 回復フェーズに応じた取組を推進するとともに、観光資源の魅力を再発見し、地域と旅行者の関係を深める</b>		
	(1) 社会経済活動の回復フェーズに応じた取組の推進	(2) 地域の魅力の再発見と旅行者の受入体制の構築	(3) 交流人口の拡大に加えて関係人口の拡大へ
	<b>視点3 ニューノーマルに適応したビジネスモデルに転換し、新たな観光を創出する</b>		
	(1) 新しい価値観からみやぎの新しい観光創出へ	(2) みやぎにしかないアドバンテージ（東北DC、東京オリパラ、復興10年）を生かす	



取組	概要	取組の進捗状況
①新たな体験型メニューの開発	自然豊かな当圏域の特性を活かしつつ、閑散期となる冬場にも催行可能な新しい観光モデルを構築し、モニターによる体験ツアーを実施する。	○令和3年2月上旬「釣り」などの体験プログラムと宿泊をセットにしたモニターツアーを実施する予定だったが、感染症拡大の影響により見送り
②三陸沿岸道路ドライブマップ作成事業	岩手県南から登米地域までを含む三陸沿岸道路沿線の広域的なドライブマップを作成し、三陸沿岸道路延伸を契機とした誘客促進及び観光客の滞留性・周遊性の向上を図る。	○令和2年度は、ドライブマップ印刷データの企画・デザイン事業を実施。令和3年6月印刷・配布予定 ○三陸沿岸道路延伸記念事業として、圏域内各インターチェンジ付近の施設に設置するポイントをまわるデジタルスタンプラリー事業を実施予定
③宮城県EDGE相互交流キャンペーン事業	気仙沼・本吉圏域と仙南地域を相互に交流し宿泊した場合、お土産や特別な夕食などのインセンティブを付与し、地域を限定した交流を促進する。	○令和2年度は「せんだい・みやぎ絆の宿キャンペーン」スキームにより実施を予定していたが、感染症拡大の影響により見送り ○令和3年度は感染症拡大の状況をみながら実施に向けて検討する。
④おかえりモネプロジェクト支援事業	『連続テレビ小説「おかえりモネ」気仙沼プロジェクト実行委員会』に対し、運営費の助成を行うほか、職員がプロジェクトチームに参画し、その活動を支援する。	○実行委員会に対し運営費助成金を支払うとともに、職員が観光誘客・物産振興・シティプロモーションプロジェクトチームに参画
⑤公式Instagramによる情報発信	気仙沼地方振興事務所公式Instagramを開設し、圏域内の観光資源の魅力を効果的に発信するほか、Instagramを活用したイベントを実施し、観光誘客促進とその滞留性・周遊性の向上を目指す。	○令和2年10月Instagramを開設し、圏域内の周遊性・滞留性向上イベントに活用 ○令和3年度もInstagramを活用したイベントを実施予定
⑥気仙沼・本吉圏域接続交通検討事業	学識経験者、鉄道・バス・タクシー事業者、観光関連事業者をメンバーとする接続交通検討会議を開催し、アクセス向上のための方策等について検討する。	○令和3年度、接続交通検討会議を立ち上げ、検討を行う。